

令和5年度 第9回理事会

日 時：令和5年12月8日（金）16：10～

場 所：林木育種センター（日立市）大会議室

I. 報 告

1. 秋篠宮皇嗣同妃両殿下のご視察について [総合調整室]
2. 令和5年度補正予算の概要について [総合調整室]
3. 役員給与規程の一部改正について [総務部]
4. 職員の給与改定等について [総務部]
5. 令和5年度特定母樹等普及促進会議の開催状況について [林木育種センター]

II. その他

1. 今後の主な会議・行事予定について
2. 主要行事
3. 森林総合研究所が広報普及した主な研究成果等について

I - 1

理事会資料
令和5年12月8日
総合調整室

秋篠宮皇嗣同妃両殿下のご視察について

第46回全国育樹祭御出席のため茨城県をご訪問された秋篠宮皇嗣同妃両殿下は、令和5年11月12日（日曜日）、つくば市の（国研）森林研究・整備機構森林総合研究所を初めてご視察されました。

浅野透理事長による研究所の概要説明の後、木材標本室及び木質バイオマス変換新技術研究棟（木の酒研究棟）において、研究担当者から説明を受けられました。



浅野理事長によるご案内



研究所概要説明の様子



木材標本のご紹介



木の酒研究のご紹介

【写真提供：茨城県】

理 事 会 資 料
令和5年12月8日
総 合 調 整 室

令和5年度補正予算の概要について

令和5年度補正予算は、令和5年11月29日に成立し、その概要は別紙のとおりです。

令和5年度 林野関係補正予算の概要

林野関係合計 1,401 億円

(単位:百万円)

区 分	公 共	非公共	計
森林整備事業・治山事業	74,501		74,501
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 2em; margin-right: 5px;">{</div> <div style="margin-left: 5px;"> 森林整備事業 (うち305億円は総合的なTPP等対策) 治山事業 </div> </div>	47,701		47,701
	26,800		26,800
山林施設災害復旧等事業	33,245		33,245
花粉の少ない森林への転換促進緊急総合対策		6,000	6,000
林業・木材産業国際競争力強化総合対策 (うち305億円は森林整備事業(再掲))	30,501 (再掲)	15,310	45,811 (再掲含む)
燃油・資材の森林由来資源への転換等対策		2,000	2,000
シカによる森林被害緊急対策		100	100
合 計	107,746	23,410	131,156

- (注) 1 金額は、関係ベース。
 2 計数は、四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。
 3 上掲の他 国有林野債務返済(決算調整分) 8,895百万円を計上。

令和5年度林野関係補正予算の重点事項

総額 1,401億円

I 食料安全保障の強化に向けた構造転換対策

① 燃油・資材の森林由来資源への転換等対策 20億円

- ・燃油・資材の価格高騰に対応するため、きのこの生産施設の省エネ化や生産資材導入を支援するとともに、木質バイオマスの収集・運搬、木質燃料の製造・熱利用に向けた取組等を支援

II 「総合的なTPP等関連政策大綱」に基づく施策の実施

(1) 次世代を担う経営感覚に優れた担い手の育成

① 林業の担い手の育成・確保

- ・林業における新規就業者への体系的な研修、労働安全衛生装備・装置の導入等を支援 (林業・木材産業国際競争力強化総合対策) 458億円の内数

② 鳥獣被害防止対策 1億円

- ・森林におけるシカ捕獲に必要な条件整備を支援

(2) 国産材の国際競争力の強化及び国産材供給力の強化・国産材への転換

① 林業・木材産業国際競争力強化総合対策〈一部公共〉

458億円

- ・林業・木材産業の国際競争力の強化や国内需要の拡大を図るため、林業・木材産業の体質強化に向けた取組等を総合的に支援

ア 林業・木材産業の生産基盤強化

- ・路網の整備・機能強化、搬出間伐の実施、再造林の低コスト化、高性能林業機械の導入、木材加工流通施設の整備等を支援

イ 林業のデジタル化・イノベーションの推進

- ・林業機械の自動化・遠隔操作化や木質系新素材の開発・実証、航空レーザ計測による森林資源情報のデジタル化を支援

ウ 建築用木材供給・利用の強化

- ・JAS構造材の建築物への利用実証・普及、CLTを用いた中高層・非住宅建築物の実証、外構部の木質化の推進等を支援

エ 木材需要の創出・輸出力の強化

- ・日本産木材製品のプロモーションの実施、輸出先国のニーズや規格・基準に対応した製品・技術開発、特用林産物の販売促進等を支援

Ⅲ 持続可能な成長に向けた農林水産施策の推進

1 新たな花粉症対策の展開

① 花粉症解決に向けた緊急総合対策＜一部公共＞

60億円

- ・10年後に花粉発生源となるスギ人工林の2割減少を目指し、花粉が多いシーズンでも現在の平年並みの花粉量までとなるよう、花粉症対策初期集中対応パッケージに掲げられた取組を実施

(林業・木材産業国際競争力強化総合対策)

458億円の内数

ア スギ人工林の伐採・植替え等の加速化

- ・スギ人工林伐採重点区域を設定し、伐採・植替えの一貫作業・路網整備を推進するとともに、森林所有者への働きかけ支援による意欲ある林業経営体への森林の集約化を促進

イ スギ材需要の拡大

- ・住宅分野におけるスギ材の利用促進、集成材工場・保管施設等の整備、建築物へのスギ材利用の機運醸成を支援

ウ 花粉の少ない苗木の生産拡大

- ・官民を挙げた花粉の少ない苗木の増産体制の整備、スギの未熟種子から苗木を増産する技術開発を支援

エ 林業の生産性向上及び労働力の確保

- ・意欲ある木材加工業者に対する高性能林業機械の導入、他産業・他地域との連携による労働力確保等を支援

オ スギ花粉飛散量の予測・スギ花粉の飛散防止

- ・航空レーザ計測による森林資源情報の高度化、森林現場におけるスギ花粉の飛散防止剤の実証試験・環境影響調査の実施を支援

IV 防災・減災、国土強靱化と災害復旧等の推進

(1) 防災、減災、国土強靱化の推進

① 治山施設の設置等による対策<公共>

268億円

- ・豪雨・地震等に起因する山地災害から国民の生命・財産を守るため、山地災害危険地区や氾濫した河川上流域等において、流木・土石流・山腹崩壊の抑制対策等を推進

② 森林整備による対策<公共>

172億円

- ・森林の防災・保水機能を適切に発揮するため、道路など重要なインフラ施設周辺や氾濫した河川上流域等での間伐、再造林、幹線となる林道の開設・改良等の対策を推進

(2) 令和5年5月から7月までの豪雨等による災害被害の復旧・復興

① 災害復旧等事業<公共>

332億円

- ・被災した治山施設、林道施設等の速やかな復旧等を実施・支援

花粉症解決に向けた緊急総合対策 <一部公共>

<対策のポイント>

「花粉症対策初期集中対応パッケージ」の着実な実行に向けて、スギ人工林の伐採・植替え等の加速化やスギ材の需要拡大、花粉の少ない苗木の生産拡大、林業の生産性向上及び労働力の確保、花粉の飛散量の予測、スギ花粉の飛散防止、スギ花粉米の実用化等の総合的な対策を緊急に支援します。

<政策目標>

スギ花粉の発生量の削減（令和2年度比 約2割削減 [令和15年度まで]、5割削減 [令和35年度まで]）

<事業の内容>

1.花粉の少ない森林への転換促進緊急総合対策 6,000百万円

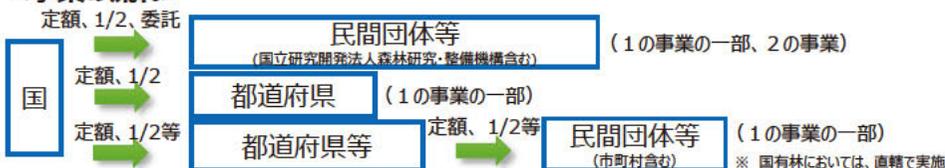
- ① **スギ人工林の伐採・植替え等の加速化**
スギ人工林伐採重点区域を設定し、伐採・植替えに寄与する路網整備や伐採・植替えの一貫作業、森林所有者への働きかけ支援による意欲ある林業経営体への**森林の集約化**を支援します。
 - ② **スギ材の需要拡大**
住宅分野におけるスギJAS構造材等の利用促進、集成材工場や保管施設等の整備、建築物へのスギ材利用の機運醸成を支援します。
 - ③ **花粉の少ない苗木の生産拡大**
官民を挙げた苗木増産体制の強化、細胞増殖技術を活用した苗木大量増産技術の開発、花粉の少ない苗木の**広域流通**を支援します。
 - ④ **林業の生産性向上及び労働力の確保**
意欲ある木材加工業者等に対する**高性能林業機械の導入**、農業や建設業など他産業との連携等を支援します。
 - ⑤ **花粉飛散量の予測・飛散防止**
航空レーザー計測による森林資源情報の高度化、森林現場におけるスギ花粉の飛散防止剤の実証試験・環境影響調査の実施を支援します。
- (関連事業) **林業・木材産業国際競争力強化総合対策<一部公共>**

45,811百万円の内数

2.スギ花粉米の実用化に向けた官民協働の取組の推進 15百万円

官民が連携し、実用化に向けた課題とその解決策の整理等を進めます。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

1. 発生源対策

スギ人工林の伐採・植替え等の加速化

スギ人工林伐採重点区域を設定し、
・伐採・植替えの一貫作業と路網整備を推進
・意欲ある林業経営体への森林の集約化の促進



<路網の整備> <再造林>

林業の生産性向上及び労働力の確保

・意欲ある木材加工業者等に対する**高性能林業機械の導入**
・農業・建設業等の他産業、他地域との連携の推進



<材の枝払い、玉切り等を連続で行う高性能林業機械>

花粉の少ない森林への転換促進緊急総合対策

スギ材需要の拡大

・住宅分野におけるスギJAS構造材等の利用促進
・集成材工場、保管施設等の整備
・建築物へのスギ材利用の機運醸成



<スギJAS集成材>

花粉の少ない苗木の生産拡大

・森林研究・整備機構における**原種増産施設の整備**
・都道府県における**採種圃・採穂圃の整備**
・民間事業者による**コンテナ苗木増産施設の整備**
・スギの未熟種子から苗木を大量増産する技術の開発
・苗木の生産量が多い産地から少ない地域への**供給の促進**



<原種増産施設> <開鎖型採種圃>

2. 飛散対策

花粉の少ない森林への転換促進緊急総合対策

スギ花粉飛散量の予測

・花粉飛散予測の高度化に向けた**航空レーザー計測・解析**を推進



<林相区分図の整備>

スギ花粉の飛散防止

・森林現場でスギ花粉の飛散防止剤の実証試験・環境影響調査を支援



<花粉飛散防止剤により枯死した雄花>

3. 発症・曝露対策

スギ花粉米の実用化に向けた官民協働の取組の推進

・スギ花粉米について、官民が連携し、実用化に向けた課題とその解決策の整理等を実施



[お問い合わせ先]

(1の個別事業のお問い合わせ先は次頁参照)

1の事業 林野庁計画課 (03-6744-2082)

2の事業 農林水産技術会議事務局研究開発官室 (基礎・基盤・環境) (03-3502-0536)

花粉の少ない森林への転換促進緊急総合対策

【令和5年度補正予算額 6,000,110千円】

<対策のポイント>

「花粉症対策初期集中対応パッケージ」の着実な実行に向けて、スギ人工林の伐採・植替え等の加速化やスギ材の需要拡大、花粉の少ない苗木の生産拡大、林業の生産性向上及び労働力の確保、花粉の飛散量の予測、スギ花粉の飛散防止等の総合的な対策を緊急に支援します。

<政策目標>

スギ花粉の発生量の削減（令和2年度比 約2割削減〔令和15年度まで〕、5割削減〔令和35年度まで〕）

<事業の内容>

1. スギ人工林の伐採・植替え等の加速化

スギ人工林伐採重点区域を設定し、伐採・植替えに寄与する路網整備や伐採・植替えの一貫作業、森林所有者への働きかけ支援による意欲ある林業経営体への**森林の集約化**を支援します。

2. スギ材の需要拡大

住宅分野におけるスギJAS構造材等の利用促進、集成材工場や保管施設等の整備、建築物へのスギ材利用の機運醸成を支援します。

3. 花粉の少ない苗木の生産拡大

官民を挙げた苗木増産体制の強化、細胞増殖技術を活用した苗木大量増産技術の開発、花粉の少ない苗木の**広域流通**を支援します。

4. 林業の生産性向上及び労働力の確保

意欲ある木材加工業者等に対する高性能林業機械の導入、農業や建設業など他産業との連携等を支援します。

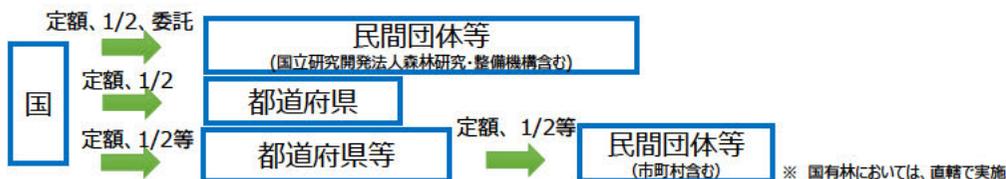
5. 花粉飛散量の予測・飛散防止

航空レーザ計測による森林資源情報の高度化、森林現場におけるスギ花粉の飛散防止剤の実証試験・環境影響調査の実施を支援します。

（関連事業）林業・木材産業国際競争力強化総合対策<一部公共>

45,810,895千円の内数

<事業の流れ>



<事業イメージ>

1. 発生源対策

スギ人工林の伐採・植替え等の加速化

スギ人工林伐採重点区域を設定し、
・伐採・植替えの一貫作業と路網整備を推進

・意欲ある林業経営体への森林の集約化の促進



<路網の整備> <再造林>

スギ材需要の拡大

・住宅分野におけるスギJAS構造材等の利用促進

・集成材工場、保管施設等の整備

・建築物へのスギ材利用の機運醸成



<スギJAS集成材>

花粉の少ない苗木の生産拡大

・森林研究・整備機構における原種増産施設の整備

・都道府県における採種園・採穂園の整備
・民間事業者によるコンテナ苗増産施設の整備

・スギの未熟種子から苗木を大量増産する技術の開発

・苗木の生産量が多い産地から少ない地域への供給の促進



<原種増産施設>



<閉鎖型採種園>

林業の生産性向上及び労働力の確保

・意欲ある木材加工業者等に対する高性能林業機械の導入

・農業・建設業等の他産業、他地域との連携の推進



<高性能林業機械>

2. 飛散対策

スギ花粉飛散量の予測

・花粉飛散予測の高度化に向けた航空レーザ計測・解析を推進



<林相区分図の整備>

スギ花粉の飛散防止

・森林現場でスギ花粉の飛散防止剤の実証試験・環境影響調査を支援



<花粉飛散防止剤により枯死した雄花>

【お問い合わせ先】 林野庁計画課 (03-6744-2082)

花粉の少ない苗木の生産拡大

【令和5年度補正予算額 6,000,110千円の内数】

<対策のポイント>

花粉の少ない苗木の生産拡大に向けて、**原種苗木の増産施設、種子を増産するための採種園や苗木を増産するためのコンテナ苗生産施設の整備等**官民を挙げた苗木増産体制の強化に加え、**細胞増殖技術を活用した苗木大量増産技術の開発**や**増産した苗木の広域流通等**を支援します。

<事業目標>

○ スギ苗木の年間生産量に占める花粉の少ない苗木の割合の増加（約5割〔令和3年度〕 → 9割以上〔令和15年度まで〕）

<事業の内容>

(1) 森林研究・整備機構における原種増産施設の整備 (育セン 930,000千円)

都道府県等による採種園等の整備に要する原種苗木を増産するため、(国研)森林研究・整備機構による原種増産施設等の整備を支援します。

(2) 都道府県における採種園・採穂園の整備

花粉の少ない苗木を生産するための種穂を増産するため、都道府県・認定特定増殖事業者による採種園・採穂園の造成・改良及び採種園・採穂園を管理する技術者の育成・確保を支援します。

(3) 民間事業者による苗木増産の支援

花粉の少ない苗木の生産を拡大するため、苗木生産事業者による苗木増産施設の整備を苗木の生産力に応じて支援します。

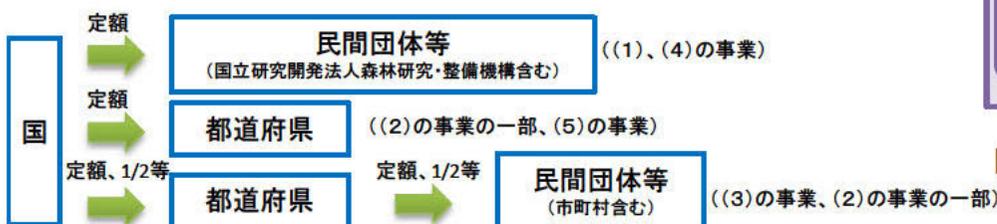
(4) 細胞増殖による苗木大量増産の支援 (公募補助事業 30,000千円以内)

細胞増殖技術を用いて、スギの未熟種子から苗木を大量生産する技術の開発を支援します。

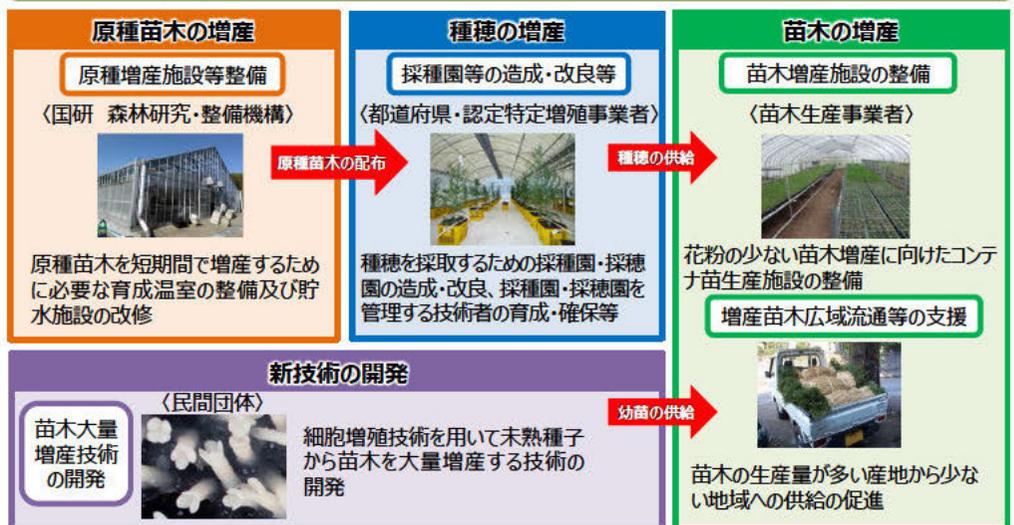
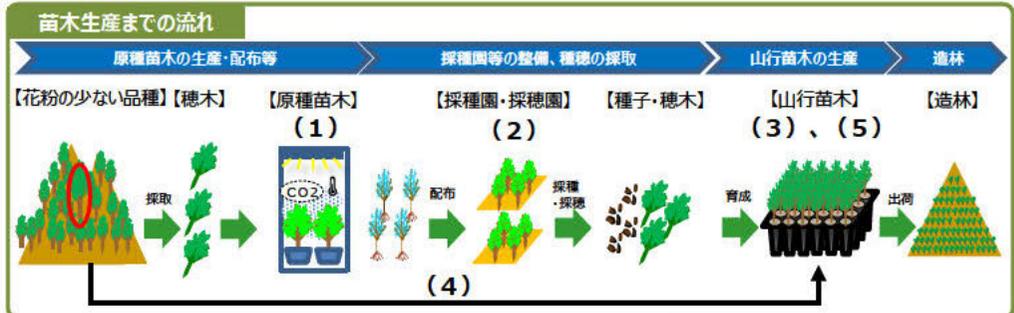
(5) 増産苗木広域流通等の支援

生産状況に地域差があることや需要変動リスクの軽減を踏まえた苗木の供給を促進するため、需給協議会の運営や苗木の広域流通に向けた取組を支援します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>



【お問い合わせ先】 ((3)、(5)の事業) 整備課 (03-3502-8065)
 ((1)、(2)、(4)の事業) 研究指導課(03-6744-2312)

花粉飛散防止剤早期実用化促進

<対策のポイント>

花粉飛散防止剤の早期実用化に向けた**花粉飛散防止剤の空中散布技術の確立**や**実用化に向けた取組**を支援します。

「花粉症対策の全体像」(抜粋)

2. 飛散対策

● スギ花粉の飛散防止

▶効果的・効率的な散布技術の開発、薬剤の改良を進めるなど、スギ花粉の**飛散防止剤の開発を促進**し、5年後に実用化の目処を立て、速やかに実行することを目指す

【林野庁】

花粉飛散防止剤

【現状】

- ・地上からの散布による薬剤効果の確認
- ・薬剤製造に係る技術の確立
- ・ドローン等を用いた、空中散布技術の実証試験の実施

【課題】

- ・空中散布技術の確立
- ・空中散布による薬剤効果の確認
- ・森林生態系等への影響調査
- ・農薬登録に向けた試験や農薬製造に係る企業との連携

花粉飛散防止剤早期実用化促進

【拡充】

(公募補助事業 100,000千円以内)

- ・製造技術が確立された飛散防止剤について、ヘリコプターによる**空中散布技術の確立等に向けた実証試験や環境影響調査等の実施**を支援
- ・**新たな飛散防止剤の開発**を支援
- ・**社会実装に向け、農薬登録に必要な試験の実施や企業との連携等**を支援



【薬剤効果の確認】

森林整備による防災・減災対策 <公共>

うち、水源林造成事業 4,380百万円

【令和5年度補正予算額 17,200百万円】

<対策のポイント>

森林の防災・保水機能の発揮のため、山地災害危険地区周辺や氾濫した河川の上流域等における間伐等の森林整備のほか、防災機能の強化に向けた林道の開設・改良等を推進します。

<事業目標>

森林吸収量2.7%（平成25年度総排出量比）の確保に向けた間伐の実施（令和3年度から令和12年度までの10年間の年平均：45万ha）

<事業の内容>

1. 防災・保水機能を高めるための森林整備

森林の防災・保水機能を発揮させるため、流域治水の取組等とも連携しつつ、山地災害危険地区や重要なインフラ周辺等のうち特に緊要度の高いエリア、氾濫した河川上流域等を対象に間伐、再造林等の森林整備を推進します。

2. 防災機能の強化に向けた路網整備

強靱で災害に強い林道の開設・改良等を推進します。

<事業イメージ>

防災・保水機能を高めるための森林整備



実施前



実施後



実施前

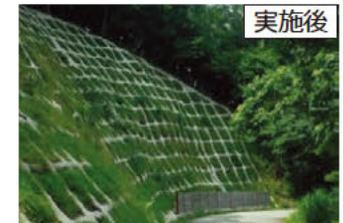


実施後

防災機能の強化に向けた路網整備

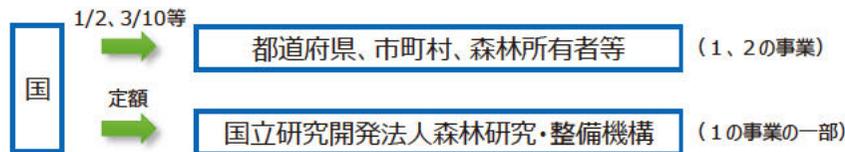


実施前



実施後

<事業の流れ>



※ 国有林においては、直轄で実施

【お問い合わせ先】 林野庁整備課 (03-6744-2303)

役員給与規程の一部改正について

令和5年度における役員給与規程の一部改正について、国の給与法改正が行われたことを踏まえ、令和5年12月1日に役員給与規程の一部改正を行った。

1. 改正の主な概要

① 俸給月額(第4条)

号 俸	俸給月額(改正前)	俸給月額(改正後)
1	706,000円	<u>708,000円</u>
2	761,000円	<u>763,000円</u>
3	818,000円	<u>820,000円</u>
4	895,000円	<u>898,000円</u>

② 期末特別手当の支給割合の改正(第8条第2項)

(改正前 3.20 月分 → 改正後 3.30 月分)

	6月期	12月期	備考
(改正前)	1.60 月	1.60 月	年間 3.20 月
<u>改正後</u>	<u>1.60 月</u>	<u>1.70 月</u>	<u>年間 3.30 月</u>

③ 非常勤役員手当の改正(第11条)

勤務1日の手当額 28,400円(改正前) → 28,700円(改正後)

2. 改正時期

令和5年12月1日(①及び③は、令和5年4月1日から適用)

職員の給与改定等について

I. 給与規程等の改正について

国家公務員において「公務員の給与改定に関する取扱いについて」が閣議決定され、官民格差等に基づく給与水準の改定が行われたところである。

当法人においても、国家公務員に準じた内容で労働組合に給与改定等を提案し、賃金改定交渉において妥結したことから、令和5年12月1日に職員給与規程等の一部改正を行った。

II. 改正の主な概要

1. 賃金改定について

(1) 月例給

① 一般職員俸給表

令和5年4月1日から、一般職員の大卒程度に係る初任給を11,000円、高卒者に係る初任給を12,000円引き上げた上で、これを踏まえ、若年層が在籍する号俸に重点を置きつつ、そこから改定率を逡減させる形で全ての年齢層の月例給を引き上げ。(平均改定率:全体1.1%(1級5.2%、2級2.8%、3級1.0%、4級0.4%、5級以上は0.3%。))

② その他の俸給表

一般職員俸給表との均衡を基本に改定。

(2) 特別給の支給割合の引き上げ

特別給の支給割合は、以下のとおり。

俸給表	(改正前)	改正後
一般職員・技術専門職員・研究職員	4. 40月	<u>4. 50月</u>
任期付研究員	3. 30月	<u>3. 40月</u>
指定職員	3. 20月	<u>3. 30月</u>
再雇用職員	2. 30月	<u>2. 35月</u>

2. 非常勤職員の賃金改定

(1) 月例給

算定基礎となる常勤職員の俸給表改正を踏まえて令和6年4月1日から改定。

(2) 特別給

期末手当の支給割合を0.05月引き上げ、年間2.30月分から2.35月分へ改定。ただし、令和6年4月1日から適用。

III. 改正時期

令和5年12月1日(1. 賃金改定についての(1)は、令和5年4月1日から適用)

令和 5 年度特定母樹等普及促進会議の開催状況について

1. 会議の趣旨

本会議は、平成 25 年度の間伐等特措法の改正により特定母樹制度が導入されたことを契機とし、特定母樹等の早期普及に向けた取組を地域において推進するため、特定母樹の指定・増殖状況や性能、採種園・採穂園の整備状況等について、関係者間での情報共有を図るとともに、特定母樹等の開発や関連技術等に関するニーズを把握することを目的として、林木育種センター及び各育種場の主催により、平成 27 年度から育種基本区ごとに開催している。

2. 参加者

林野庁、森林管理局、都道府県、認定特定増殖事業者、林業団体、森林総合研究所関係領域・支所、森林整備センター、森林保険センター

3. 開催状況

育種基本区ごとの開催時期等は以下のとおり。全体で延べ 461 名が参加。

- | | |
|------------------------------------|-----|
| (1) 北海道地区：10月3日（火）北海道札幌市（かでの2・7） | 42名 |
| ※集合会議とWeb会議の併用 | |
| (2) 東北地区：10月5日（木）岩手県盛岡市（東北支所） | 46名 |
| (3) 関東地区：8月7日（月）東京都立川市（立川庁舎） | 71名 |
| 8月8日（火）東京都青梅市（青梅採種園） | 66名 |
| (4) 関西地区：9月26日（火）大阪府大阪市（近畿中国森林管理局） | 82名 |
| (5) 九州地区：10月25日（水）熊本県熊本市（九州森林管理局） | 83名 |
| 10月26日（木）熊本県玉名市（九熊本147号次代検定林） | 71名 |

4. 主な説明事項

- ・ エリートツリー等の開発や特定母樹の指定・普及に係る状況
- ・ 特定母樹の試験植栽及び展示林設定について
- ・ 特定母樹にかかる情報提供（林野庁）
- ・ 認定特定増殖事業者及び関係機関による取組状況と情報提供
- ・ 森林保険制度の概要説明（森林保険センター）

5. 主な提案・要望等（育種センター、育種場に関わるもの）

- ・道有採種園整備に対する技術支援、原種の安定供給、着花促進への情報提供・技術指導、種子の登熟～球果採種時期の情報提供、採種園の設計等に係る情報提供・技術指導、特定増殖事業者への巡回指導（断幹処理や施肥等）の継続、林木育種事業の普及啓発について。（北海道地区）
- ・特定母樹に指定された原種の早期配布、スギ採種園造成に係る円滑な穂木配布と技術支援、カラマツ特定母樹の採種園造成の技術的支援、特定母樹の血縁情報の提供。（東北地区）
- ・スギ及びヒノキにおける少花粉品種と同程度の花粉量かつ特定母樹の品種開発の状況。（関東地区）
- ・採種園管理に関する技術指導、少花粉品種の特性を持つ特定母樹の開発、特定母樹の特性の公表。（関西地区）
- ・エリートツリーの採穂母樹の仕立方、特定母樹の普及（花粉症対策）、遺伝子調査による品種同定。（九州地区）

6. 当日の様子



(北海道地区)



(東北地区)



(関東地区)



(関西地区)



(九州地区)

今後の主な会議・行事予定について

日付	研究	整備	保険	行事名	場所等
12月16日	○			森林教室「マツボックリから知る タネのひみつ」	関西支所 (主催：関西支所)
(10月3日) ～ 12月24日	○			多摩森林科学園2023年秋の企画展 「人と森林の共生～木材利用で輝く未来～」	多摩森林科学園森の科学館 (協力：林野庁 林野図書資料館)
1月12日～ 13日	○	○	○	WOODコレクション (モクコレ) 2024	東京ビッグサイト 西1・2ホール (主催：WOODコレクション実行委員会、ブース出展：森林研究・整備機構)

主要行事（令和5年11月10日～令和5年12月7日）

月 日	行事内容	出席者
11月10日(金)	【共】理事会	理事長、各理事、森林保険センター所長、両監事
11日(土) ～12日(日)	第46回全国植樹祭	理事長
12日(日)	【研】秋篠宮皇嗣殿下・同妃殿下御視察	理事長、企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事
13日(月)	森林・林業・環境機械展示実演会	企画・総務・森林保険担当理事
〃	九州国有林林業生産協会研修会	森林保険センター所長
13日(月) ～14日(火)	【研】農林水産業にかかる環境研究三所連絡会議	理事長、研究担当理事
14日(火) ～15日(水)	【保】監事監査(京都)	鈴木監事
15日(水)	【研】会計実地検査(NEDO事業)	企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事
16日(木)	【研】地域情勢交換会議	理事長、企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事
〃	【共】機構評議会	理事長、各理事、森林保険センター所長、両監事
17日(金)	2023年(第17回)若手外国人農林水産研究者表彰式、JIRCAS国際シンポジウム2023	理事長、研究担当理事
20日(月)	【整】内定式	森林業務担当理事、法令遵守担当理事
20日(月) ～22日(水)	アグリビジネス創出フェア	理事長、研究担当理事、法令遵守担当理事、鈴木監事
21日(火) ～22日(水)	【整】青森水源林整備事務所視察	法令遵守担当理事
22日(水)	国立研究開発法人協議会連携協力分科会	研究担当理事
22日(水)	2023治山・林道のつどい	森林業務担当理事
24日(金)	日本農学進歩賞授賞式	研究担当理事
27日(月) ～29日(水)	【整】監事監査(中部整備局津水源林整備事務所)	鈴木監事
28日(火)	【研】森林産業コミュニティ・ネットワーク(FICoN)第8回ウェブ検討会	理事長、研究担当理事
12月4日(月)	庁議	理事長
5日(火) ～7日(木)	【共】会計実地検査	理事長、企画・総務・森林保険担当理事
6日(水)	【研】森林総研シンポジウム	理事長、研究担当理事、両監事
〃	全国水源林造林協議会(全水造連)予算対策理事会	森林業務担当理事、法令遵守担当理事
7日(木)	【育】林木育種実務担当者会議	育種事業・森林バイオ担当理事

※【研】:森林総合研究所、【育】:林木育種センター、【整】:森林整備センター、【保】:森林保険センター、【共】:共通の行事の略

森林総合研究所が広報普及した主な研究成果等について

○ 前月以降公開済の研究成果

	広報タイトル	研究者・担当者名	掲載誌名	論文公開時期	備考
1	スギの葉が成長期の乾燥に弱いメカニズムを解明	サイウ サトシ 齊藤 哲 企画部 サカタ タダシ 阪田 匡司 震災復興・放射性物質研究拠点	Journal of Forest Research	2023年5月	
2	CO2を放出する代謝、光呼吸：裸子植物と被子植物で異なる仕組み	ミヤザワ シンイチ 宮澤 真一 樹木分子遺伝研究領域	The Plant Journal	2023年5月	
3	屋久島暖帯雨林の樹木種の成長と生存のトレード・オフは個体サイズや気候イベントで変化	イダ ヨシコ 飯田 佳子 生物多様性・気候変動研究拠点	Journal of Ecology	2023年6月	
4	新種のハチはカシワの葉に不思議な“鈴”をつくる～マイクロCTが解き明かした、転がる幼虫室の形成過程～	コヤマ アスカ 小山 明日香 生物多様性・気候変動研究拠点	「Scientific Reports	2023年10月	プレスリリース
5	日本には毎年何種の外来植物が侵入していたか開国以降約150年間の推移を解明ー今後の侵入削減目標を決める際の指標にー	コヤマ アスカ 小山 明日香 生物多様性・気候変動研究拠点	NeoBiota	2023年5月	プレスリリース
6	スギとヒノキの特性をめぐる研究は時代背景に応じてどう変化したのか	ハンモト ショウジ 橋本 昌司 立地環境研究領域	森林立地 65(1)	2023年6月	
7	植物生育阻害アルミニウムを無毒化するタンニンの合成経路を一部再現	ヤマミヅ チヒロ 山溝 千尋 樹木分子遺伝研究領域	Journal of Plant Research	2023年8月	

○ 最近のシンポジウム・イベント

	名称	担当	主催等	開催場所	開催日	備考
1	GOP28ジャパンパピリオン・セミナーの開催について	森林総合研究所REDDプラス・海外森林防災研究開発センター	主催：森林総合研究所 共催：林野庁、国際熱帯木材機関（ITTO）、住友林業株式会社	ドバイ(Dubai, UAE) オンライン視聴が可能	12月5日(火) 現地時間 14:45～16:00 (日本との時差は5時間)	
2	シンポジウム「森林が主導するネイチャーポジティブ～生物多様性の研究と実践の最前線～」(第2回)	森林総合研究所 シンポジウム事務局	森林総合研究所	Webexによるオンライン開催	12月6日(水) 13:00～16:00	
3	講演会「人の生活圏で発生するナラ枯れ被害に対する取り組み」	森林総合研究所 ナラ枯れ講演会事務局	森林総合研究所	森林総合研究所 (Microsoft Teamsによるオンライン配信)	12月21日(木) 13:15～17:00	